

実績ある産業用インクジェット印刷機を海外市場に本格展開 ～新開発インクの搭載により対象印刷基材の拡大を図る～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)はこのほど、産業用UVインクジェットプリントシステム「Truepress Jet650UV(トゥループレス ジェット 650 ユーブイ)」に、さまざまな基材への印刷や印刷後の立体成型加工にも対応する新開発のインクを搭載。海外での同装置の販売を本格的に開始します。

近年、スクリーン印刷をはじめとする有版方式が主流の産業用印刷業界では、多品種小ロット印刷や、短納期、コスト削減、在庫レスのほか、多くの印刷版を使用するグラデーション印刷への対応が課題となっており、これらを解決するため、オンデマンド化、インクジェット化が急速に進んでいます。そのため印刷機器メーカーでは、これらのニーズに対応する装置やインクの開発が急務となっていました。

産業用印刷業界におけるこのような動向を受け「Truepress Jet650UV」は、UVインクジェット方式ならではの無版でのグラデーション印刷をはじめ、多くのユーザーニーズに応える、精密で高精細な描画性能に加え、カスタマイズ性にも富んだ製品仕様となっています。産業用印刷業界で課題となっている、多品種小ロット対応と短納期対応の両立を実現するとともに、環境にも配慮した装置として、2007年春の発表以来、海外の輸送用機器のメーターパネルをはじめ産業用パーツの量産に採用されるなど、実績を重ねてきました。

今回、延伸性と基材密着性に優れた新開発のインクを搭載することにより、ポリカーボネートに加え新たにABS樹脂、アクリル、PVC、PETなど、さまざまな基材への高精度な印刷を可能にするとともに、印刷後の立体成型加工への対応を実現。さらに、色数が増えるなど、インクのバリエーションが充実しました。このほか、「Truepress Jet650UV」は、当初から安全を考慮して開発が進められており、2008年11月には米国のUL規格の認証を取得。加えて、欧州のCE規格の認証も取得することとなりました。

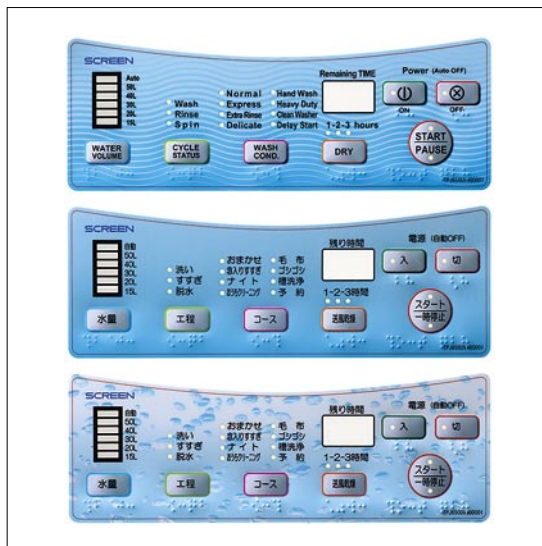
当社は、今回の「Truepress Jet650UV」における新インクの搭載と安全規格の認証取得をきっかけに、本格的な海外展開を開始し、5月12日から14日までオランダ・アムステルダムで開催される世界最大規模のスクリーン印刷関連機材の展示会「FESPA Digital Printing Europe 2009」、および6月22日から26日まで米国・シカゴで開催される国際プラスチック見本市「NPE2009」に出展します。



Truepress Jet650UV



印刷サンプル (メーターパネル)



印刷サンプル (家電製品の操作パネル)

☆ これらの画像の印刷用データ (解像度300dpi) は、下記URLよりダウンロードできます。
 (www.screen.co.jp/press/nr-photo/)